

みらいゼミ2023年度第2クォーター成果報告会

SOGIの観点から

大学を変革するには？



目的：私たちは去年の秋からみらいゼミを継続しており、その中でSOGIおよびLGBTQ+に関して様々な視点からのアプローチを試みてきた。その経験を通して、大学という存在が「誰もが安全・安心・信頼を感じることのできるような味方」として機能するように変革を起こしていきたいという想いが芽生えた。そのための土台作りを着実にしていきたいから。

ダイバーシティ&インクルージョン推進室 (D&I推進室)の河村先生と植木部長への取材

D&I推進室では、女性教職員および研究者を増やす取り組み、障がいを持つ学生・留学生・SOGIやLGBTQ+に関して悩みを持つ学生のサポートを対象としている。現状としては、多様な人がいることの意義を考え、さまざまな課題に対して大学としてどのように対応するかを主な取り組みとしている。

また、これまではそれぞれの窓口で個別対応をしていたのを、D&I推進室でそれらの情報を取りまとめ、みんなで共有することで、よりスムーズに問題解決を図れるような環境を整備している。

SOGIやLGBTQ+に関わらず、学生からプライベートな相談があった場合に、たらい回しにされことなく、どの窓口にも相談をしに行けたとしても、その学生が最も適切な窓口に通ることができ、大学生活を心地よく、生きやすく過ごせるような最善策を、大学は考えてくれる。

しかし、APUとの違いとガイドラインの詳しい内容については不明点も多く、残念ながら少し疑問が残る結果となった。

また、大学職員にはもう一箇所取材に行ったが、プライバシー保護のため、省略する。

大阪公立大学

ハムダイバーシティプロジェクトさんとの交流会

京都レインボープライドフェス&パレードからのご縁で、前回もみらいゼミで交流会を行ったが、今回は一部対面で行った。継続が難しいとされるLGBTQ+サークルが抱える共通の悩みや大学側の対応の違いなど、率直な意見を交わし、とても楽しく和やかな会となった。そして、今後は他大学との交流を深め、仮に継続が困難になったとしても、みんなで支え合っていけるような繋がりができたらいいねとも話した。ちなみに、ハムダイバーシティプロジェクトの代表は関西レインボーフェスタでは運営スタッフだったため、再会でできて嬉しかった。



関西 RAINBOW FESTA! 2023への ブース出展とパレード参加



←「日本地図をレインボーに」という企画を行った。これはLGBTQ+当事者やアライの方々が日本全国にいることを知ってそれが救いになればという想いと共に、自分の身近なところに当事者はいるということを知ってほしいという意味を込めている。今後大学内に掲示することで、この意義を果たしたいと考えている。

今後の活動について

今回のゼミを通して、大学職員は敢えて「レインボー」を掲げずに、学生の守秘義務やプライバシーを守り、学生の望む大学生活を最大限遂行するために適切な個別対応を実施することが大学側の立場であることが明らかとなった。ならば、私たち学生の立場、つまり私たちだからこそできることは、「レインボー」を掲げ、「ここはあなたが安心して存在できる居場所」ということを発信し、学生主体の自由で開放的なコミュニティを構築し、それを軸に学内・学外で活動していくことだと考える。具体的には、LGBTQ+やSOGIをテーマにした学内イベントの開催、各地のレインボープライドパレードへのブース出展及びパレードの参加などが挙げられる。直近だと、サークル化の申請をしたため、今年中には絶対にサークル化させたい。立命館大学にrall.の存在があることは、誰かにとっての救いになることが、活動を重ねている中で確かに感じたからだ。